

水稻品種「どんとこい」の収穫適期							
[要約]「どんとこい」の収穫適期は出穂後35～42日で、出穂後の積算平均気温では940～1100℃、籾水分は26～23%、帯緑籾歩合は25～10%である。							
三重県農業技術センター・栽培部・作物栽培担当						連絡先	05984-2-6359
部会名	水田・畑作物	専門	栽培	対象	稲類	分類	普及

[背景・ねらい]

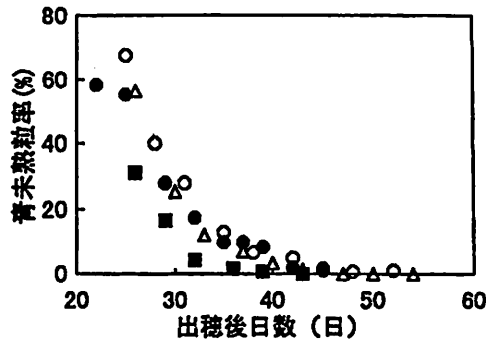
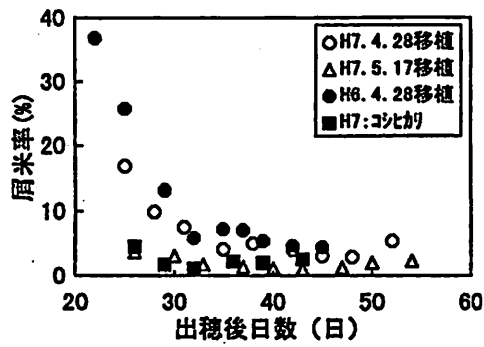
奨励品種に採用した多収で良食味の新品種「どんとこい」の品質向上を図るため、収穫適期ならびに収穫適期の判断基準を検討した。

[成果の内容・特徴]

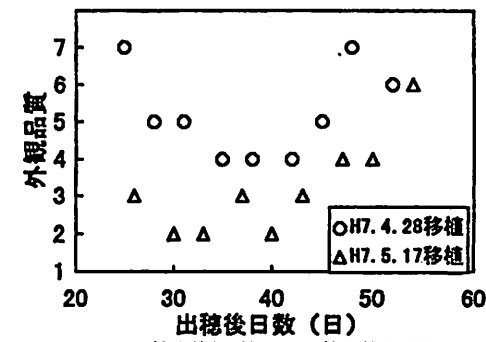
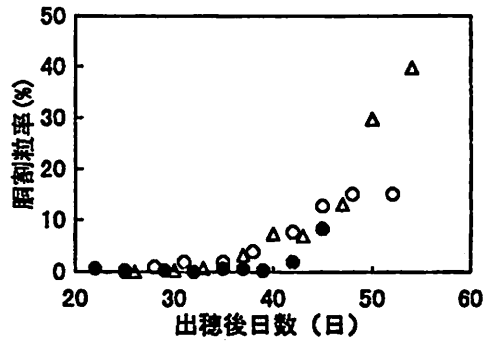
1. 「どんとこい」はコシヒカリに比べて、屑米率、青未熟粒率および帯緑籾歩合の低下が遅く、登熟期間は5日程度長い(図1、図2)。
2. 外観品質(検査等級)は出穂後35～42日が高く、屑米率は出穂後35日に約7%に、青未熟粒率は約13%に低下し、胴割れ粒率は出穂後42日までは10%以下である(図1)。
3. 青未熟粒率および胴割れ粒率と収穫時の籾水分との関係は、籾水分が26%になると青未熟粒率はおおむね10%以下となり、胴割れ粒率は籾水分が23%以下になると増加し始める(図3)。
4. 収穫時の籾水分と帯緑籾歩合の相関は高く、帯緑籾歩合は収穫適期判断基準として利用できる。コシヒカリに比べて同一籾水分での帯緑籾歩合は高い傾向がある(図4)。
5. 以上のことから「どんとこい」の収穫適期は出穂後35～42日で、出穂後の積算平均気温では940～1100℃(図表なし)、籾水分は26%～23%、帯緑籾歩合は25%～10%である(図4)。

[成果の活用面・留意点]

- ・本県における「どんとこい」の栽培指導の基礎資料として利用できる。
- ・登熟期が高温・多照な多収年次での検討であり、低温年での反応および穂発芽については未検討である。



耕種概要
栽植密度
21.2株/m²
基肥
0.5kg/a
穂肥
0.15+0.15kg/a
出穂期
H6
4/28移植:7/18
H7
4/28移植:7/28
5/17移植:8/2



コシカリ
移植時期:4/27
出穂期 :7/27

図1 刈り取り時期と玄米品質

1~3:検査等級1等 4~6:検査等級2等
7:検査等級3等(食糧事務所調査)

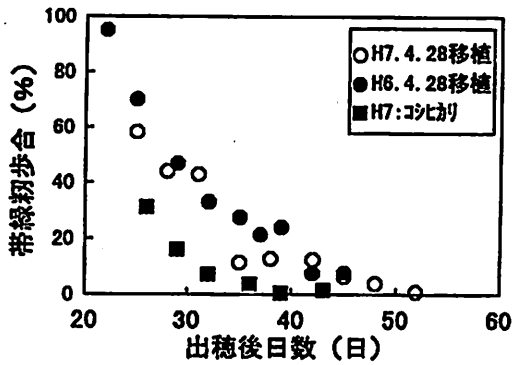


図2 刈り取り時期と帯緑粉歩合

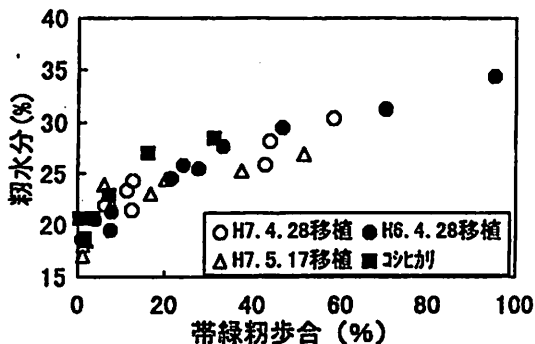
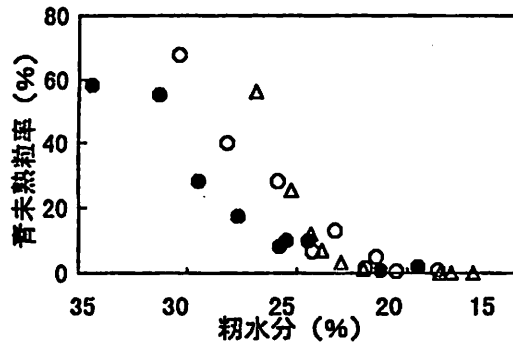


図4 帯緑粉歩合と粉水分の関係

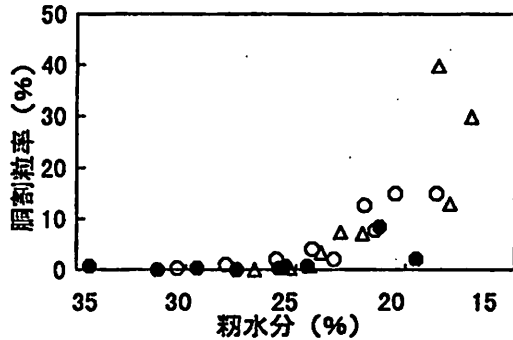


図3 粉水分と玄米品質の関係

[その他]

研究課題名: 水稻新品種の高生産技術の確立
予算区分: 県単
研究期間: 平成7年度(平成6~7年)
研究担当者: 山中聡子、北野順一、神田幸英
発表論文等: 日作東海支部報121号(予定)